

平成24年度「福井新々元気宣言」推進に係る政策合意の実施結果 (平成25年3月末現在)

「福井新々元気宣言」の4つのビジョンを着実に実現していくため、平成24年4月に知事と合意した「政策合意」の実施結果について、次のとおり報告します。

平成25年3月

総務部長 森阪 輝次

I 総括

1 県立大学の改革

- 平成25年度以降の県立大学の運営の指針となる中期目標・中期計画を策定し、語学教育の充実、県内就職の促進、優秀な教員の確保、等の項目を盛り込みました。
- 県立大学の地域経済研究所にアジア経済部門を新設し、中国、東南アジア経済に関する調査研究、県内企業のアジア進出のための条件や経営課題の分析、アジア経済の専門家による講座の実施など、県内企業のアジアビジネス支援を行いました。

2 若者のチャレンジと女性の活躍を応援

- 新たに地域活性化活動や海外武者修行にチャレンジする若者の「ふくい夢チャレンジプラン」を支援するとともに、「ふくい若者チャレンジクラブ」が県外交流、意見交換会などの事業を実施することなどにより、新たに326名の若者が活動に参加し、若者の横のつながりや活動が広がるなどの動きが進みました。
- 男女が協力して家事等を行う風土づくりを進めるため「家事チャレンジ検定」を実施し、562人が参加したほか、女性リーダーの養成に向けた「未来きらりプログラム」の実施や女性が働きやすい職場環境づくりのためのメンター養成講座の開催などに取り組みました。また、女性の活躍を進める「女性活躍支援企業」も例年の2倍を超える24企業を確保しました。

3 「福井しあわせ元気国体」開催に向けた着実な準備

- 平成30年の第73回国民体育大会に向けて、正式競技や公開競技の会場地の選定を完了し、開催基本構想の策定、大会愛称・スローガンの決定など、着実に準備を進めました。

4 ふるさと創造プロジェクトの推進

- 5市町で住民や若者が参画した委員会等を立ち上げ、歴史や文化、景観などを活かした観光誘客や商業の再生、自立自営のコミュニティ形成、若者の定住促進といったプロジェクトについて検討を進め、一部事業にも着手しました。
- 残りの市町についても、25年度には順次委員会を立ち上げ、検討を開始します。

5 行財政構造改革の推進

- ボランティア情報を提供する福井県社会貢献活動支援ネットへの登録者数は108団体となり、さらに、県民との共動を一層推進するため、平成25年度から29年度までを計画期間とする「福井県県民社会貢献活動推進計画」を策定しました。
- 目的・効果が分かりにくくなったイベントのほか、講師謝礼や旅費の削減など775事業を廃止、縮減することなどにより、平成25年度政策推進枠予算の財源(50億円)を確保しました。

Ⅱ 「政策合意」項目にかかる結果について

- ・別紙「平成24年度 政策合意項目にかかる実施結果報告（総務部）」のとおり

平成24年度 政策合意項目にかかる実施結果報告(総務部)

(平成25年3月末現在)

【実施結果の区分】

- ・目標を上回って達成しました。(例:成果が目標を概ね2割超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例:成果が目標どおり達成されたもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例:成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標にはいたりませんでした。(例:成果が目標に及ばなかったもの)
- ・引き続き実施します。(例:成果を上げるためには年度を超えて実行する必要のあるもの)

役職	総務部長	氏名	森阪 輝次
項 目		実 施 結 果	
<p>1 技術と戦略で勝ち抜く福井の産業 ◇ 福井本拠にグローバルシフト</p> <p>・県立大学改革の推進【部局連携】 学生の海外留学支援など大学の国際化、社会人の学び直し、教員評価制度に基づく研究費の配分を実施します。また平成25年度以降の県立大学の運営の指針となる中期目標・中期計画を今年度中に策定、大学改革を着実に進めます。</p> <p>さらに、地域経済研究所による東南アジア地域の投資政策等の調査分析・情報提供を重点的に実施します。</p>		<p>[成果等] 目標を達成しました</p> <p>シンガポールに学生を派遣するなど海外留学支援の拡充し、県立大学から65名が短期海外留学しました。社会人の学び直し促進のための放送大学との単位互換協定の締結、研究費の配分のための教員評価などを行いました。</p> <p>また、平成25年度以降の県立大学の運営の指針となる中期目標・中期計画を策定しました。</p> <p>さらに、地域経済研究所においてアジア経済フォーラムを定期的実施するなど、東南アジア地域の投資政策等について県内企業への情報提供を実施しました。</p>	
<p>1 技術と戦略で勝ち抜く福井の産業 ◇ 福井本拠にグローバルシフト</p> <p>・福井を支えるグローバル人材の育成 「福井県アジア人材基金」を活用して、県内学生等に対する長期海外留学の支援やアジア経済に関する教育等を行います。</p> <p>また、中国などアジア各国の大学を中心に県立大学をPRするなど、外国人留学生の入学を促進します。さらに、日本語、生活習慣や地域経済に関する講座を開催し、外国人留学生の県内企業への就職を促進します。</p> <p>[県内学生の長期海外留学者数 30人]</p>		<p>[成果等] 目標を一部達成しませんでした</p> <p>「福井県アジア人材基金」を活用して長期海外留学支援制度を創設したほか、県内企業向けの「啓発塾」を開催しました。</p> <p>また、外国人学生向けの大学案内の制作・配布やベトナム2大学との交流協定締結など、外国人留学生の入学を促進しました。</p> <p>今後、留学生向けの研修・交流会を開催し今後の県内企業への就職を促進します。</p> <p>[県内学生の長期海外留学者数 19人]</p>	

役職	総務部長	氏名	森阪 輝次
項目		実施結果	
<p>1 技術と戦略で勝ち抜く福井の産業 ◇ 福井本拠にグローバルシフト ・大学連携リーグの充実 学生の企画力やコミュニケーション能力を高めるため、調査研究に関する交流事業を2月に実施します。また、6月に座学と遺跡見学を組み合わせた講座を初めて実施するなど連携企画講座の内容を充実します。あわせて、自主的な運営にシフトするための方策について議論を進めます。 さらに、学生に単位を付与する講座として、福井の社会、自然、歴史などの地域特性を学ぶ「ふくい総合学」を県内の大学等が連携して開講します。</p> <p>〔 連携企画講座や「ふくい総合学」の1回当たりの平均参加者数 35人 〕</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました</p> <p>学生の調査研究に関する交流事業を2月に実施し、8グループが参加しました。 また、6月に座学と一乗谷朝倉氏遺跡見学を組み合わせた講座を開催するなど、講座の内容充実を図りました。また、「ふくいの地域特性を知り可能性を探る」をテーマに「ふくい総合学」を開講しました。 受講者数は、過去最高の延べ3,926人、1回当たりの平均参加者数も40人を上回りました。 さらに、学長会議を開催し、大学コンソーシアム化に向け、語学教育での連携強化等を確認しました。</p> <p>〔 連携企画講座や「ふくい総合学」の1回当たりの平均参加者数 40.5人 〕</p>	
<p>2 すぐれた医療と支えあいの福祉 ◇ 「一役を分担」の地域活動 ・ふるさと集落の活性化 地域おこし協力隊や集落支援員の導入促進、伝統行事の復活や地域の特産品の開発等の活動を支援し、ふるさと集落の活性化を図ります。</p> <p>〔 ふるさとを元気にするための活動を行った集落数 80集落 (平成23年度末 70集落) 〕</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました</p> <p>5市町において、農作業・集落行事等の手伝いを行う地域おこし協力隊や、集落の現状を行政に伝えるなど集落の課題解決を支援する集落支援員を導入することで、中山間地域の高齢化集落の維持・活性化を図りました。 また、7市町において、地場野菜の販路拡大・加工品開発や伝統行事の復活など中山間地域で新たな活動を行う集落を支援しました。</p> <p>〔 ふるさとを元気にするための活動を行った集落数 85集落 (15集落増) 〕</p>	
<p>3 若者のチャレンジと女性の活躍を応援 ◇ 若者にチャレンジの場 ・若者のチャレンジ活動を応援 街なかのにぎわいづくりなど県内での地域活動や若者の仲間づくりへの支援に加え、新たに海外や県外で専門技能や知識の習得を目指す若者の活動を支援することにより、チャレンジ意欲を持ち、次代を担う福井の若者を増やします。</p> <p>〔 新たにチャレンジ活動に参加する若者の数 300人 (平成23年度末 283人) 〕</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました</p> <p>若者グループが県内外で地域活性化を図るプランを支援した結果、6グループが、若者の出会いの場を創出する「まちコン」、地域住民と共動して、子どもたちが地元の魅力を大人たちに紹介する活動や地域イベントなどを行い、103名の若者が新たに活動に参加しました。 また、新たに、海外で武者修行する若者を支援しており、台湾での水墨画のライブパフォーマンス、個展での作品の披露にチャレンジしています。 また、「ふくい若者チャレンジクラブ」では、山形県の若者との交流、若手経営者との座談会や里山での生活体験等の開催などを行った結果、今年度は新たに169名の若者が登録し、若者の横のつながりが広がり、他の若者グループの活動に参加するなどの動きが進みました。</p> <p>〔 新たにチャレンジ活動に参加する若者の数 326人 〕</p>	

役職	総務部長	氏名	森阪 輝次
項目		実施結果	
<p>3 若者のチャレンジと女性の活躍を応援</p> <p>◇ 働く女性に活動のゆとりを</p> <p>・女性リーダーの出やすい社会づくりの促進【共同研究】</p> <p>企業内で女性リーダーを育てる相談役であるメンターの養成や家庭と仕事の両立の支援など、職場環境を整える「ふくい女性活躍支援企業」を増やし、県内企業で活躍する女性達の活動を支援します。</p> <p>また、お茶の水女子大学と共同で開発した、これからの福井の元気を生み出す女性リーダーとして必要な知識を学ぶ「未来きらりプログラム」を実施します。</p> <p>さらに女性のゆとり時間を伸ばすため、男性の積極的な家事参加を促進します。</p> <p>【「女性活躍支援企業」登録企業数 81社 (平成23年度末 71社)】</p>		<p>〔成果等〕 目標を上回って達成しました</p> <p>今年1月のサンドーム福井における新卒者向け「ふるさと魅力発見フェア」での女性活躍支援企業PRや、150社を直接訪問し、女性活躍支援センター、メンター養成講座など女性活躍のための事業紹介を行い、例年の2倍を超える女性活躍支援企業への登録を達成しました。</p> <p>また、年間を通じて、県内企業から推薦された女性33名が「未来きらりプログラム」を受講し、プレゼンテーション手法をはじめとした、様々なビジネススキルを学びました。</p> <p>父子や家族で楽しみながら家事に関する知識を知ってもらう「家事チャレンジイベント」を2回開催し600名以上の参加を得たほか、家事チャレンジ検定の受験者を500名以上確保し、年間を通じて男性の積極的な家事参加を促しました。</p> <p>【「女性活躍支援企業」登録企業数 95社(24社増)】</p>	
<p>4 国体めざす県民スポーツ、生活のなかに楽しむ県民文化</p> <p>◇ 飛躍する福井のスポーツ</p> <p>・第73回国民体育大会の開催に向けた準備</p> <p>県外開催を検討する2競技の県外候補地を調査し、比較検討の上、会場地を選定します。</p> <p>準備委員会に新たに募金・協賛推進委員会、警備・消防検討会、全国障害者スポーツ大会検討会を設置するとともに、開催基本構想や式典基本構想など各種基本方針等の策定を行います。</p> <p>大会愛称・スローガンを4月から募集し11月までに決定・発表します。また、3月までにマスコットキャラクターの募集を行います。</p> <p>【福井国体に対する参加意欲 70%】</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました</p> <p>水泳(水球、飛込、シンクロナイズドスイミング)と馬術の2競技4種目について、県内外の候補地を比較検討の上、12月の検討会で県外開催を決定し、2月の国体常任委員会でも県外会場地市町および候補施設を選定しました。</p> <p>国体準備委員会の組織としては、7月に新たに募金・協賛推進委員会、警備・消防検討会、全国障害者スポーツ大会検討会を設置しました。</p> <p>また、各検討会および常任委員会において、「開催基本構想」「デモスポ実施基本方針」「輸送・交通基本方針」「文化プログラム実施基本方針」「競技施設整備計画」「宿泊基本方針」「警備・消防防災基本方針」を検討、策定し、今後の各分野の準備の方向性を明確にしました。</p> <p>4月から6月にかけて大会愛称、スローガンを募集し、14,814件の応募がありました。大会愛称「福井しあわせ元気国体」、スローガン「織りなそう 力と技と美しさ」に決定し、11月に発表しました。</p> <p>1月末からマスコットキャラクターの募集を開始し、498件の応募がありました。</p> <p>【24年度 福井国体に対する参加意欲 72.7%】</p>	

役職	総務部長	氏名	森阪 輝次
項目		実施結果	
<p>5 行財政構造改革の推進 ◇ 県民・市町との「共動」システム ・ボランティア活動や県民と連携した新たな公共サービスの促進【部局連携】 ボランティアをしたい人と必要とする団体等のマッチングを行う支援ネットを5月頃から運用し、職能や技能、経験を活かした社会貢献活動を促進します。また、交流会の開催等によりNPO等の自立的活動を支援し、子育て支援、高齢者の支え合いなど地域等の課題を解決します。</p> <p>〔社会貢献活動支援ネットへのNPO等の登録数 80団体 自立的活動として地域の課題解決に取り組む団体数 20団体〕</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました</p> <p>6月から、インターネット上でボランティア情報を提供する「福井県社会貢献活動支援ネット」を稼働させ、地域の課題を身近に把握している市町や社会福祉協議会と協力して、ボランティア希望者を必要としている団体の登録を進めました。また、企業訪問を行い、職能や技能、経験を持った県民の登録を促進し、年度末までに個人116人と団体16団体が登録しました。</p> <p>多様な地域課題の解決に向けて、行政とNPOの共動とNPO同士のネットワークづくりを図るため、6地区7回の交流会を開催し、延べ92団体が参加しました。</p> <p>〔社会貢献活動支援ネットへのNPO等の登録数 年度末108団体（108団体増）〕</p> <p>〔自立的活動として地域の課題解決に取り組む団体数 年度末見込22団体（22団体増）〕</p>	
<p>5 行財政構造改革の推進 ◇ 県民・市町との「共動」システム ・市町との共動 市町が歴史や文化など自らの地域資源を活用・発展させ、若者の視点も取り入れながら、全国に誇りを持って発信できる「ふるさと創造プロジェクト」を推進します。</p> <p>〔実施計画を策定し、一部事業に着手 勝山市 実施計画を策定 敦賀市、あわら市、池田町、若狭町〕</p>		<p>〔成果等〕 引き続き実施します</p> <p>5市町で住民や若者が参画した委員会等を立ち上げ、歴史や文化、景観などを活かした観光誘客や商業の再生、自立自営のコミュニティ形成、若者の定住促進といったプロジェクトの計画策定を4市町で行い、勝山市では一部事業にも着手しました。</p> <p>〔実施計画を策定し、一部事業に着手 勝山市 実施計画を策定 敦賀市、あわら市、若狭町 ※池田町については、25年度も計画策定を継続〕</p>	

役職	総務部長	氏名	森阪 輝次
項目		実施結果	
<p>5 行財政構造改革の推進 ◇ 県民に「よくわかる県政」の強化 ・県政の情報発信の強化 県施策広報のさらなる強化・充実を図るため、新たな広報誌「県政広報ふくい」を5月から奇数月に年6回発行し、県下全域に県政情報を行き渡らせます。</p>	<p>〔成果等〕 目標を達成しました</p> <p>県の重要施策などに関する情報発信をさらに充実・強化するため、新たな広報誌「県政広報ふくい」を5月から年6回発行しました。原子力政策や北陸新幹線をはじめとする県政の重要課題について、県民に分かりやすく伝えました。</p> <p>新聞折込により県内の9割の世帯に配布するとともに、より多くの県民に県政情報を伝えるため、公共施設やコンビニエンスストアなどにも設置し、入手しやすい環境づくりに努めました。</p> <p>また、毎号アンケートを実施し、県民の意見を参考に、内容やレイアウトなどについてより読みやすいものとなるよう工夫しました。</p>		
<p>5 行財政構造改革の推進 ◇ 県民に「よくわかる県政」の強化 ・県有施設改善による県民サービスの向上</p> <p>県有施設の食堂等について、速やかに改善方針を決定、利用客の違いなど施設の特性に応じた改善を即座に実施し、県有施設のサービスを向上します。</p>	<p>〔成果等〕 引き続き実施します</p> <p>県有施設の食堂・レストランについて、可能なものから改善に着手しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改善に着手 5か所 ・公募による業者選定 2か所 ・公募による業者選定を計画 2か所 ・改善内容を調整中 4か所 <p>今後、改善に着手したのものについては、その効果を検証し、さらなる改善を進め、改善内容を調整中のものについては、可能なものから早期に着手します。</p>		
<p>5 行財政構造改革の推進 ◇ 質の高い政策をめざす県庁 ・新たな国づくり税制調査会による税制提言【部局連携】</p> <p>大都市圏に過度に集中する人口、産業、資金等を地方に分散させるなど、地方が役割を發揮するための税制を提言します。</p>	<p>〔成果等〕 目標を達成しました</p> <p>新たな国づくり税制調査会において16項目の税制提言をとりまとめ、国等へ提言活動を行いました。10月には、森林吸収量の市場取引制度普及拡大のための税制提言が実現しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回新たな国づくり税制調査会開催(5月25日) 企業の海外流出を防止し国内分散を促進する税制、ふるさと納税の退職金への拡大適用など16項目の税制を提言 ・国等へ提言活動を実施(7月26日) ・J-VER 購入経費を法人の損金対象とする税制提言の実現(10月) 		

役職	総務部長	氏名	森阪 輝次
項目		実施結果	
<p>5 行財政構造改革の推進 ◇ 質の高い政策をめざす県庁 ・試験研究機関等の機能強化【部局連携】 出先機関と本庁が定期的開催する「業務遂行会議」により、出先機関の主要業務について目標と課題を設定し、スピード感を持ち実行します。 新ブランド品種の開発や最先端の技術開発など、試験研究機関ごとに主要課題について期限や数値目標を明確にして、研究開発や実用化を進めます。</p>		<p>[成果等] 目標を達成しました</p> <p>試験研究機関ほか74出先機関について所属目標を設定し、各部企画幹と出先機関の長による業務遂行会議を、延べ410回開催し、進捗管理および課題調整を行い早期実行を図りました。 また、農林水産関係の試験研究機関について、研究課題を戦略的研究、課題解決研究、基盤的研究の3つに分類し、消費者や企業のニーズに合った新たな需要創出につながる研究を強化しました。</p> <p><戦略的研究テーマ> ・「ポストこしひかり」の開発 ・甘いオールシーズン「越のルビー」の開発 ・オールシーズンとれたてフルーツ産地の育成 等</p>	
<p>5 行財政構造改革の推進 ◇ 質の高い政策をめざす県庁 ・職員の実践的な語学力向上 若手職員を対象とした「チャレンジ語学研修」を5月に開始します。英語での電話応対やメール作成、海外での商談会や海外観光客の誘客などを想定したプレゼンテーションなどの演習を行い、業務に活用できる語学力を有する職員を3年間で150人に増やします。</p> <p>TOEIC600点以上（日常会話が支障なくできるレベル）の職員を新たに養成（19人増）計120人 うちTOEIC730点以上（業務上のやりとりが支障なくできるレベル）の職員を新たに養成（9人増）計50人</p>		<p>[成果等] 目標を一部達成しませんでした</p> <p>若手職員を対象とした「チャレンジ語学研修」を5月に開始し、英語での電話応対やメール作成などの演習や語学上級者等との合同研修を行いました。また、入庁3年目までの若手職員を対象に「通信教育講座」の受講や600点未満の者を対象にしたTOEIC対策講座などを実施しました。</p> <p>TOEIC600点以上（日常会話が支障なくできるレベル）の職員を新たに養成 113人 うちTOEIC730点以上（業務上のやりとりが支障なくできるレベル）の職員を新たに養成 55人</p>	
<p>5 行財政構造改革の推進 ◇ 行財政構造改革による財源の確保 ・県税収入の確保 個人県民税について、県と市町が連携して特別徴収の拡大を図ります。一方、滞納者に対しては福井県地方税滞納整理機構による適正な滞納整理を行い、県税収入の確保に努めます。</p> <p>県税収入率 全国10位以内 チャレンジ目標 全国8位以内</p>		<p>[成果等] 目標を達成しました</p> <p>個人県民税については、特別徴収の拡大のため、市町と連携して制度の周知広報や未実施事業所への文書送付や直接訪問など働き掛けを行いました。 また、福井県地方税滞納整理機構では、昨年度より約1億9千万円多い約13億2千万円を引き受け、公平かつ厳正な滞納整理による収入確保に努めました。</p> <p>平成24年度県税収入率 全国10位（見込）</p>	

役職	総務部長	氏名	森阪 輝次
項目		実施結果	
5 行財政構造改革の推進 ◇ 行財政構造改革による財源の確保 ・ 県有財産の有効活用 利用見込みのない県有財産について、積極的な売却や貸付等を進めます。 また、職員住宅をはじめとした県有施設の共同利用等による集約化を検討します。		[成果等] 目標を一部達成しませんでした 県有財産の売却については、新聞、雑誌、市町広報誌、ホームページなど、積極的な広報を行うとともに、(社)福井県宅地建物取引業協会等に媒介委託するなど、早期売却に努めました。しかし、経済情勢や不動産市況の低迷が長引いており、計画達成にはいたりませんでした。 県有施設の共同利用等による集約化については、知事部局、教育委員会、警察本部がそれぞれ管理している職員住宅の共同利用を進めるため、平成24年1月から貸与基準や事務取扱を整理し、実施運用を始めました。さらに老朽化が進み、入居者が減少している施設について、各部局共通の廃止候補選定基準を設け、段階的な廃止や有効活用を進めます。	
[県有財産売却・貸付等 1億2千万円]		[県有財産売却・貸付等 1億1千万円]	
5 行財政構造改革の推進 ◇ 「第三次行財政改革実行プラン」の策定 ・ コンパクトな行政の推進 事務事業の終了やアウトソーシング等により、職員数の適正な管理を継続します。 また、仕事の進め方の改善や成果が乏しい事業の見直しなどを進め、職員の超過勤務を1割以上減らします。		[成果等] 目標を一部達成しませんでした 「第三次行財政改革実行プラン」に基づき、事務事業の見直しやアウトソーシング等を進め、職員数は適正に管理しています。 また、1人当たりの超過勤務時間数については昨年度実績とほぼ同じ水準ではあったものの、年度途中の衆議院議員総選挙や県議会議員の補選、各種計画策定業務、4月に発生した大型低気圧や7月の越前市東部集中豪雨の災害など、例年のない業務が重なったため目標達成には至りませんでした。	
[1人当たりの超過勤務時間数 年間150時間]		[平成24年度 1人当たりの超過勤務時間数 175時間]	
5 行財政構造改革の推進 ◇ 「第三次行財政改革実行プラン」の策定 ・ 外郭団体の評価の実施 県が出資・出えんを行っている全ての外郭団体について、主要事業の実施状況、成果等を確認し、9月までに設置する有識者による評価委員会の意見を聴いた上で、団体の意義、必要性の検証を2月までに行います。		[成果等] 目標を達成しました 各団体の主要事業や財務、新公益法人制度移行等の状況を調査し、6月に設置した外部委員で構成する外郭団体評価部会から意見を聴取した上で、全30団体について団体事業の意義、必要性の検証を行いました。	
[評価実施団体 30団体]		[評価結果 ・ 外郭団体から除外 3団体 うち解散 2団体 県出資等の解消 1団体 ・ 県補助金、委託料の縮減 14団体 ・ その他の団体については引き続き検討]	

役職	総務部長	氏名	森阪 輝次
----	------	----	-------

項目	実施結果
----	------

<p>5 行財政構造改革の推進</p> <p>◇「第三次行財政改革実行プラン」の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> 健全財政の堅持 <p>第三次行財政改革実行プランにおいて定めた財政収支見通し(平成24年3月策定)に基づき、歳入の確保、歳出の合理化を進め、新たな行政需要にも対応できる財政基盤を確立し、将来に向けて健全な財政運営を堅持します。</p> <p>財政指標 財政調整基金等の24年度末残 232億円 県債の24年度末残高(臨時財政対策債を除く) 5,873億円 地方財政健全化法に示す健全化判断比率 実質赤字比率 黒字 連結実質赤字比率 黒字 実質公債費比率 18%未満 将来負担比率 210%未満</p>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>プランに基づき人件費の抑制を継続して進めるとともに、すべての事務事業の総点検を行い、歳出の一層の削減に努めました。</p> <p>また、県税の徴収強化など、行財政全般にわたる構造改革を推進した結果、すべての項目について目標を達成しました。</p> <p>財政指標</p> <p>財政調整基金残高 279億円</p> <p>県債残高 5,871億円</p> <p>健全化判断比率 実質赤字比率 黒字 連結実質赤字 黒字 実質公債費比率 17%程度 将来負担比率 205%程度</p>
--	--

<p>5 行財政構造改革の推進</p> <p>◇ 150億円の「政策推進枠予算」を確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 政策推進枠予算の財源確保 <p>成果主義による事務事業の見直し等を着実に実行し、政策推進枠予算の財源を確保します。</p> <p>[政策推進枠予算(一般財源) 44億円]</p>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>目的・効果が分かりにくくなったイベントのほか、講師謝礼や旅費の削減など775事業を廃止、縮減することなどにより、計画を上回る政策推進枠の財源(50億円)を確保しました。</p> <p>政策推進枠予算(一般財源) 25年度 50億円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>22</th> <th>23</th> <th>24</th> <th>25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象予算</td> <td>/236月</td> <td>/24当初</td> <td>/25当初</td> <td>/26当初</td> </tr> <tr> <td>計画</td> <td>26億円</td> <td>38億円</td> <td>44億円</td> <td>42億円</td> </tr> <tr> <td>(累計)</td> <td>(26億円)</td> <td>(64億円)</td> <td>(108億円)</td> <td>(150億円)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>26億円</td> <td>40億円</td> <td>50億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(累計)</td> <td>(26億円)</td> <td>(66億円)</td> <td>(116億円)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	年度	22	23	24	25	対象予算	/236月	/24当初	/25当初	/26当初	計画	26億円	38億円	44億円	42億円	(累計)	(26億円)	(64億円)	(108億円)	(150億円)	実績	26億円	40億円	50億円		(累計)	(26億円)	(66億円)	(116億円)	
年度	22	23	24	25																											
対象予算	/236月	/24当初	/25当初	/26当初																											
計画	26億円	38億円	44億円	42億円																											
(累計)	(26億円)	(64億円)	(108億円)	(150億円)																											
実績	26億円	40億円	50億円																												
(累計)	(26億円)	(66億円)	(116億円)																												